

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あおきの里

作成日: 平成 29 年 7 月 27 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化して、内容も画一化しているため、新しい参加委員を増員し、会議が充実した内容になるように議題や内容を検討し、参加委員が会議に魅力を感じて、参加したくなる運営推進会議を目指していく。	参加委員を複数の民生委員や、地域で活動している有識者、知見者等に参加要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの繁栄だけでなく、地域貢献にも取り組んで行く。	12ヶ月
2	13	職員を育てる取り組み	ベテラン職員と新人職員の介護技術に差があるので、研修会や勉強会を通じて、職員の介護知識や技術の向上に取り組み、職員の意欲や意識の高揚を目指していく。	外部の研修会に、習熟度に合わせて職員を派遣し、知識を習得し、社会勉強して、意識の高揚を図り、職員の意欲に繋がる職場を目指していく。	12ヶ月
3	51	日常的な外出の支援	職員の勤務体制や介護力にばらつきがあるので、職員一人ひとりの介護知識の習得と、介護技術の向上を図り、「目配り・気配り・心配り」を常に意識した外出の支援に取り組む。	職員の意欲や意識改革に取り組み、利用者が楽しめる外出を行い、日常的に散歩や買い物ができる体制に取り組み、利用者の気分転換に繋がる外出の支援を目指していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。